

*Hiroko Yakushimaru*

"Tragedy of W" original story by Shizuko Natsuki.  
directed by Shinichiro Sawai. Haruki Kadokawa presents.

# Wの悲劇

愛、欲望、そして悲劇の方程式

わたしは、  
スキヤンダルな女。



澤井信一郎監督作品

製作の角川春樹  
原作の夏樹静江

脚本 澤井信一郎  
監督 澤井信一郎  
主演 藤川京子  
原田知世 藤川京子  
高木美保 新人  
志方亜紀子  
角川春樹事務所作品



葉師九ひろ子

世良公則

高木美保 新人

志方亜紀子



清水総治

香野百合子

南 美江

仲谷 昇

蛭川幸雄

三田村邦彦

三田佳子

《W》のひと文字に隠された  
愛と憎しみのドラマの開幕を告げる1ベルが鳴り響く……



別荘で水入らずの正月を過ごす財閥・和辻家を突然の悲劇が襲った。当主・与兵衛を女子大生である摩子が刺し殺してしまったのだ。このスキャンダルを外にもらすわけにはいかない。一族は結束して外部の者の犯行に見せかける偽装工作を試みる。しかしその工作を警察に暴露するよう細工する者が現われた。事件の裏に隠された真実とは——夏樹静子の原作『Wの悲劇』が劇団「海」によって演じられ

ている。しかしその舞台と同じように展開するく悲劇<sup>ドラマ</sup>が舞台裏でもクライマックスに向けて進行していた。そしてそのく悲劇の登場人物とは、舞台で事件の鍵を握っている和辻淑江を演じる劇団「海」の看板女優・羽鳥翔、刑事課長役を演じる五代淳、ヒロイン摩子役の菊地かおり、三田静香ら劇団研究生達。彼らが舞台で演じる『Wの悲劇』とともに抱えこんだ真実とは——

*Hiroko Yakushimaru*

"Tragedy of W." original story by Shizuko Natsuki.  
directed by Shinichiro Sawai. Haruki Kadokawa presents.

# Wの悲劇



Women  
《W》それは女たちを表わすW……

《W》それは和辻家を表わすWでもあり、舞台と映画のドラマが重なりあって進行するダブル構造のWであるのだが、日本映画界初の本格的バック・ステージ映画というわけだ。

映画の主人公の名は三田静香、20歳。この駆け出しの劇団研究生が、舞台『Wの悲劇』のヒロイン摩子役のオーディションに挑み、最初は失敗するが、思わぬチャンスが訪れる。しかしそのチャンスの中には凄じいスキャンダルが含まれていた。それには舞台の摩子が抱えたスキャンダルと同じようなく悲劇<sup>ドラマ</sup>が待っていたのだ。だが静香は現実の恋も忘れて、この「女優」の道をつっ走ってゆく……。

三田静香を演じるのは今夏のヒット作「メイン・テーマ」で20歳らしい色香と成長を見せた薬師丸ひろ子。前作とはうって変わったヘビィな役を力いっぱい熱演

し、新たなキャラクターを創りあげた。静香に女優の道の厳しさを教える羽鳥翔役には三田佳子、そして五代には三田村邦彦、さらに静香の恋人役に世良公則、ほか仲谷昇、清水紘治、香野百合子ら正月映画らしい豪華キャストが組まれた。

さらに映画の重要パートを担う舞台の設営・演出には演劇界の重鎮・蜷川幸雄があたり、映画でも舞台演出家として登場するのだが、美術や照明に至るまで細かな配慮を示し、リアルなスケール感を出している。監督には一昨年、「野菊の墓」で新鮮なデビューを飾った澤井信一郎。「遅咲きの大物新人監督」の第2弾として、その実力の開花が大きな注目を集めている。また映画主題歌「Woman～Wの悲劇より～」は薬師丸本人が歌い、こちらの大ヒットも大いに期待されている。